広報

はちまんたい

農と輝の大地――八幡平市

2009.5.14
No.83

今月の表紙

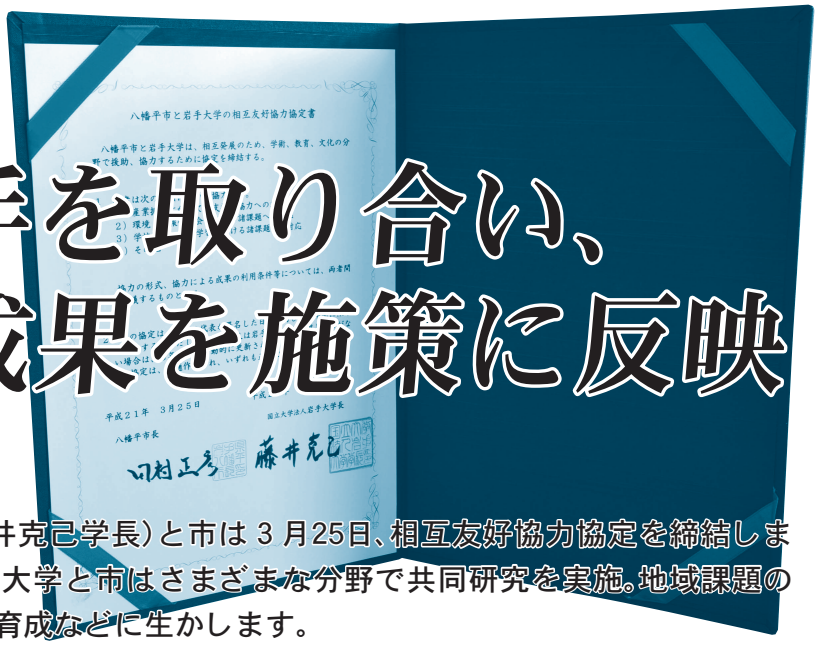
大型連休後半の５月５日、道の駅にしねで八幡平さくらと残雪まつりの一つ、産直春まつりイベントで子どもの健やかな成長を願い一升もちを背負っての記念撮影会を行いました。父母らに手を引かれるなど、がんばって歩く姿に、訪れた観光客から声援が送られました。

●主な内容

岩手大学と相互友好協力協定を締結…02
高規格救急車が３地区に配備完了…04
福祉ねっとわーく…08
話題ピックアップ…14
お知らせ…18

学・官の連携で
共同研究の道開く

岩手大学と市の相互友好協力協定を締結



ともに手を取り合い、研究の成果を施策に反映

国立大学法人岩手大学（藤井克己学長）と市は３月25日、相互友好協力協定を締結しました。この協定に基づき、岩手大学と市はさまざまな分野で共同研究を実施。地域課題の解決や躍進の鍵となる産業の育成などに生かします。

地域課題の解決に向けて大学と連携

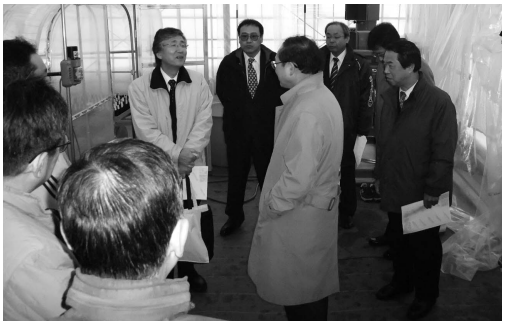
市は、産業振興や教育の充実など、さまざまな分野で施策を展開しています。しかしながら、近年の人口減少や少子高齢化の進行、就業構造の変化といった諸問題により、行政を取り巻く環境も大きく様変わりをしてきました。

市は、こうした問題に対応するため、組織の再編を行い、市民の声に応えた行政サービスを提供してきましたが、これまでの行政の枠を超えた新たな課題への取り組みが求められています。

市は、こうした新たな地域課題に対応するためには、専門的な調査・研究が欠かせないと判断。こうした課題への対応策を学術機関と連携して、共同で研究を行うことにしました。県内には多数の大学があり、それぞれ地域や産業界との連携活動が行われています。市は、そうした中でも、10市村と相互友好協力協定を締結して、さまざまな実績を挙げている国立大学法人岩手大学と連携することを決めました。

地域の連携を深め多くの実績を残す

岩手大学の地域連携への取り組みは古く、地域や産業界との連携事例は数多くの実績を挙げています。代表的なものとしては、納豆菌を発見した盛岡高等農林学校（現岩手大学農学部）の村松舜祐博士から、直接指導を受けて製品化された株式会社丸勘商店（本社・工場、八幡平市）の「盛岡納豆」。また、松尾鉱山の鉱排水を浄化する中和処理施設の技術開発への協力など、地域と深くかかわってきました。


協定締結に向けて市内を視察する岩手大学関係者

今回の連携では、岩手大学と市が協定を結び、市総合計画に基づいた分野の中で、大学と密接に協力しながら共同で研究を進め、市の施策に反映させていくことが特徴です。この研究のため、４月から岩手大学地域連携推進センターへ共同研究員として市職員を派遣。市と大学のパイプ役となって、さまざまな研究や共同事業の企画・実施を行います。

協定の締結までにさまざまな協議を

相互友好協力協定を締結するに当たって、どのような分野で研究を行うかなど、大学側と事前協議を積み重ねました。

この間、大学関係者と松尾地区の熱水ハウスや雪冷房培養施設を視察。農業など産業振興の方向性などについて意見交換し、共同研究などで具体的に協力していく事項について大学関係者と協議を行いました。

協定を取り交わし互いに協力を誓う

岩手大学と市の相互友好協力協定の締結式は3月25日、西根地区市民センターで行われました。

藤井克己学長と田村正彦市長が、それぞれ署名して協定書を取り交わし、固い握手で協力を誓いました。

協力する項目は、左の表に掲げた▽産業振興▽環境・情報化▽学校教育・生涯学習など。これに基づいてさまざまな研究や事業が行われることが予測され、その成果は市の施策として反映されます。

締結式終了後には、「岩手大学地域連携フォーラムin八幡平市」が開催されました。

これまでに行われた地域連携にかかわる取り組みについて、共同研究員などが具体的な事例を交えながら紹介。より広範で強い連携を実現するため、市職員などが地域連携の在り方について学びました。

詳しくは、市企画総務部総合政策課政策調整係(☎76－2111、内線1221)まで。

実例を交えながら地域連携について学びました

●岩手大学との連携協力が想定される事項

協定項目	連携協力事項
1.産業振興に向けての支援・協力への対応	産学官連携
	定住・交流
	観光振興
	地域資源活用
2.環境・情報化社会における諸課題への対応	災害時の情報伝達
3.学校教育・生涯学習における諸課題への対応	学校教育
4.その他	公共交通体系
	協働のまちづくり
	土地利用
	国際交流

「農(みのり)と輝(ひかり)の大地」を具現化するため、地域の課題解決へ協力しましょう
――田村正彦市長

岩手大は地域に根ざして歩むのが使命。これを機に連携を深めましょう
――藤井克己学長

掛け替えのない命を守る高規格救急車が全地区配備に

救える命を増やす高規格救急車の導入を

救急車は、緊急の差し迫った傷病者を病院などの医療施設まで迅速かつ安全に搬送することが目的です。高齢化の進行などにより、救急車の出動件数は全国で増加する傾向にあることに加え、早期に処置を行うことが傷病者の救命率を高めることにつながることから、高規格の救急車が求められるようになりました。

高規格救急車は、救急救命士などの行う高度な救命処置が十分できるように、従来の救急車に比べて活動しやすい車内空間に加え、自動体外除細動器（ＡＥＤ）や薬剤投与などの機材を登載。これらの器具を使用して、脈の止まった人や呼吸の止まった人も蘇生できるよう、高度な処置を行うことができます。このため、傷病者の救命率が高まることが期待されます。

こうした利点があることから、20年4月1日現在で、全国の消防本部に配備されている５８９９台の救急車のうち、４５０３台が高規格のもので、年々増加しています。また、高規格救急車を運用する高度救急隊に欠かせない救急救命士

日々の訓練で救命率を向上
高度な処置を行うため、訓練を行い技術を高める高度救急隊員

も増加し、全国の消防本部で活躍しています。

消防署松尾出張所に高度救急隊を組織する

八幡平消防署松尾出張所の高度救急隊発隊式は4月1日、八幡平消防署で行われました。

隊員や田村正彦市長など、約30人が出席。男性が散歩中に急病で倒れた想定で、救急救命処置を施す訓練を披露しました。

松尾出張所の高度救急隊は、救急救命士4人を含む14人で組織。消防署と安代出張所にはすでに高度救急隊が組織され、これで市内全域を高度救急隊が管轄することになりました。

式典で宮野弘幸署長は「さらに訓練を重ねて、市民の救命率を高めてください」と訓示しました。

命を救う鍵は救急車到着までの時間

高規格救急車が整備されたことにより、高度な救急救命処置を施すことが可能になり、救命率の向上が期待されるようになりました。

119番通報から救急車が現場に到着するまでに平均で約6分かかります。心臓が停止してから約3分で半数の命が失われることから、到着までに何をするかが、命を救う重要な鍵になります。

救命の第一歩は、身近にいる人の応急処置です。八幡平消防署では、心肺蘇生法や止血法など、大切な人を助けるための救命講習を無料で行っています。グループや個人を問わず、誰でも受講することができますので、お気軽に問い合わせください。

申し込みなど詳しくは、八幡平消防署(☎76－2119)、消防署松尾出張所(☎74－2119)、消防署安代出張所(☎72－3119)まで。

高度な機器が満載の車内

訓練を視察する田村市長

八幡平消防署松尾出張所高度救急隊

杣　沢　　敦　隊長

高度救急隊の発足で、救命率の向上が期待できますが、市民の皆さんによる応急手当も重要です。また、家族の通院している病院や病歴、服用している薬などを把握して、救急隊にお知らせください。

救命率を向上し、皆さんのお役に立てるよう、全力を尽くします。

総務大臣感謝状の伝達を受ける佐藤惠一さん

前行政相談委員　佐藤惠一さん

24年間の功績に総務大臣から感謝状が贈られました

3月まで行政相談委員を務めた佐藤惠一さん（荒屋新町）への総務大臣感謝状伝達式は4月23日、市役所で行われました。

総務省岩手行政評価事務所佐藤武男所長から感謝状の伝達を受けた佐藤さんは「行政相談委員としての活動は、長くもあり短くもあったが、感謝されることもあり、とても充実していた」と長年の活動を振り返りました。

佐藤さんは、昭和60年4月から24年間、行政相談委員として活動。この間、600件を超える国の行政に関する苦情などを受け付け、相談者への助言や関係機関への通知などを行い、行政サービスの改善や行政相談制度の発展に貢献しました。また平成11年からは、岩手行政相談委員協議会の理事を務めました。

安代地区の新行政相談委員佐藤源嗣さんが委嘱を受けました

行政相談委員として委嘱された佐藤源嗣さん

安代地区の新たな行政相談委員として佐藤源嗣さん（中佐井）が、総務大臣から委嘱されました。

行政相談委員は、行政に関する苦情などを受け付け、助言をしたり、行政運営の改善に役立てる仕事を、毎月定期的に無報酬で行っています。相談所の開設日、場所などは、暮らしの情報カレンダー（10～11ページ）で確認してください。

未知の国「縄文街道」をPR

新キャラクター&グッズが完成

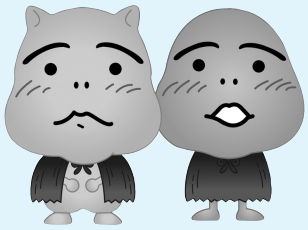
NPO法人風景の生命を守る地域づくりネットワーク（田村麗丘理事長）は、縄文街道をPRする新キャラクターを発表し、このキャラクターをデザインしたPRグッズの販売を開始しました。

新たに完成したキャラクターは、市出身の漫画家・小田ひで次さんがデザインした縄文街道のオフィシャルキャラクターに、流行の「ゆるキャラ」的要素を取り入れた新デザインです。

販売するグッズは、新キャラクターがデザインされた携帯電話用ストラップやハンカチなどです。市内では、松尾八幡平物産館アスピーテや道の駅にしねで販売します。

同法人は、八幡平市から青森市までを結ぶ東北自動車道、国道282号線、国道7号線を縄文街道と位置づけ、縄文から続く北東北の風景や文化を情報発信しています。同法人ホームページ（http://fukei-net.jp）もご覧ください。

⬆松尾八幡平物産館アスピーテで販売されているPRグッズ



➡デザインを一新したPRキャラクター「チカジ」㊧と「チカチン」㊨

市営住宅の入居者を募集します

市は、市営住宅の入居者を次のとおり募集します（住宅に困窮する度合いの高い人から決定します。困窮の順位を決めがたい場合は抽選します）。

■募集住宅

【公営住宅】

住宅名	募集戸数	建築年度	間取り
大泉住宅（西根）	1戸	H14	3LDK 風呂付き
曲田住宅（安代）	2戸	H2	3DK 風呂付き
柏台第一住宅（松尾）	3戸	S62	2LDK 風呂付き
湯沢住宅（松尾）	1戸	H7	2LDK 風呂付き

※湯沢住宅は、高齢者・心身障害者世帯のみ応募可能。

【コミュニティ住宅】

住宅名	募集戸数	建築年度	間取り
イワナシ（松尾）	2戸	S55	2DK 風呂付き
イワカガミ（松尾）	1戸	S55	2DK 風呂付き
チングルマ（松尾）	1戸	S57	2LDK 風呂付き
シャクナゲ（松尾）	1戸	S58	2LDK 風呂付き

【特定公共賃貸住宅】

住宅名	募集戸数	建築年度	間取り
湯沢住宅（松尾）	3戸	H7 H8	2LDK 風呂付き

※いずれの住宅も単身入居はできません。

また、近隣への迷惑になりますので、動物（ペット）の飼育、3.3平方㍍を超える増築については認めません。

申込者または現に同居しもしくは同居しようとする親族が、暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員であるときは、入居できません。

■敷金　入居時家賃の3カ月分

■申込期間　5月18日㈪～29日㈮まで

■申込方法　市建設部建設課（松尾総合支所1階）、各総合支所地域振興課に備え付けの用紙で申し込んでください。

■入居抽選会・手続き説明会（申し込みをした人のみ対象）　6月5日㈮、午前10時～、松尾総合支所3階大会議室

入居資格など詳しくは、市建設部建設課建築係（☎・内線2524）まで。

建設課からのお知らせです

景観からの地域づくり（景観点検）事業

委託団体を募集します

県では、住民主体のまちづくりを支援するため、21年度の「景観からの地域づくり（景観点検）事業」を募集します。

募集要項および仕様書など詳細については、県都市計画課のホームページに掲載されているほか、市役所でも必要書類を配布しますので、お気軽に市建設部建設課都市計画係（松尾総合支所1階）まで問い合わせください。

申請は、市を経由することになります。

■応募資格　地域住民による任意団体、NPO法人、各種団体など

■事業費　1件あたり18万円程度で、県内5件

■実施期間　契約の日から22年3月1日㈪まで

■申込期限　6月1日㈪まで

20年度は、市から目名市自治会が「地域の隠れた景観資産の発掘活動」で、七時雨ロマンの会が「涼川と赤川の景観写真展」でこの事業に応募し、実施しました。

申し込みなど詳しくは、市建設部建設課都市計画係（☎・内線2522、2525）まで

◆市食生活改善推進員養成教室参加者を募集します

「食」を中心とした健康づくりを仲間と一緒に楽しく学ぶ教室です。学んだ知識を地域へと広げる「食のボランティア」を始めてみませんか。なお、修了後は、会員として活動していただきます。

■対象　市民で食に関するボランティア活動をしたいと考えている20歳以上の人

■定員　25人

■日程　6月16日㈫～9月29日㈫のうち7日間

■場所　西根地区市民センターおよび田頭公民館

■参加費　テキスト代は実費

■内容　講義、調理実習など

■申込期間　5月25日㈪～29日㈮、定員になり次第締め切ります。

◆さまざまな病気を早期発見する婦人検診を受けましょう

婦人検診は、子宮がん検診と乳がん・甲状腺検診(乳房のレントゲン撮影と乳腺・甲状腺の視触診)を行います。

婦人検診では、子宮・卵巣・乳房・甲状腺にがんや他の病気があるかどうか検査や診察を行います。病気を早期発見するためにも、定期的な検診の受診をお勧めします。

検診を申し込んだ人には、受検票と日程表を送付しています。申し込んでいない人でも、対象年齢であれば受診することができますので、問い合わせください。

◆はしかなどの予防にMR予防接種をお忘れなく

MR予防接種は、麻しん(はしか)と風しん(三日はしか)が一緒になった予防接種です。

第2期(小学校就学前)と第3期(中学3年生)、第4期(高校3年生)の対象者の保護者に通知を発送しています。

第3期と第4期は、麻しん・風しん予防を強化するため、20年度から5年間の措置として導入されています。

予防接種の期間は、22年3月31日までです。期限内に接種することをお勧めします。

詳しくは、担当まで問い合わせください。

保健のひろば

☎76-2111・内線1142 市市民部保健課

検診・予防接種はお忘れなく

福祉 NETWORK

環境のみらい

☎76-2111・内線1137 市市民部市民課

◎犬の飼い主の皆様へのお願い

最近、犬の放し飼いや迷い犬、フンの放置などについての苦情が多く寄せられています。愛犬家の皆さんは、注意して犬を飼いましょう。

①放し飼い　「放しても大丈夫」と言われる人もいますが、飼い主には従順でも人や他の犬にけがをさせるかもしれません。他の人や犬にも気を配り、きちんとつないでおきましょう。

②迷い犬　犬が離れないよう、鎖と首輪をしてください。また、首輪の裏などに、連絡先が分かるよう、飼い主の氏名・住所・電話番号、犬の氏名・鑑札番号を書いてください。犬がいなくなったら、市役所や警察へ連絡してください。

③犬のフンの放置　飼い主がフンの後始末をしないことは他の人に不快な思いをさせ、衛生的にもよくありません。愛犬のフンは飼い主が責任をもって片付け、散歩の際にはビニール袋などを準備しましょう。

介護のココロ

☎76-2111・内線1185 市福祉部長寿社会課

◎八幡平市地域包括支援センターのご案内

高齢者の皆さんが、住み慣れた地域で楽しく安心して暮らすことができるように、介護サービスなど、さまざまな相談を受け付けるセンターです。高齢者の皆さんの何でも相談所のようなもので、市役所本庁舎内に設置しています。

▶いつまでも健康でいたい　高齢者の皆さんの心身の健康状態に合わせて、介護が必要な状態にならないよう介護予防教室を実施しています。また、健康教室の紹介やスタッフの派遣などを行っています。

▶介護サービスを利用したい　介護保険に関する相談を受け付けています。また、要支援1・2と認定された人が介護予防サービスを適切に利用できるように調整も行っています。

▶安心して暮らしたい　センターでは、高齢者の皆さんが安心して暮らしていただけるように、他の機関と連携して悪質商法や詐欺から高齢者の皆さんを守ります。

学びの窓
がっこうニュース

市内各校で交通安全教室を開催

交通マナーを正しく学んで安全な登下校をしましょう

市内小中学校に通う児童を対象とした交通安全教室は4月8日の平舘小学校を皮切りに、各校で行われました。

この教室は、交通マナーや道路を通行する際に気を付けなければならない知識を学び、子どもたちの命を守ることを目的に毎年4月に行われているものです。

実際に路上で横断歩道の渡り方などを学びました（大更小）

教室では、岩手警察署の署員や市交通指導隊員が各校を訪れて指導に当たりました。児童や生徒たちは、横断歩道を渡る際の安全確認や手の挙げ方、自転車の正しい乗り方などの交通マナーを学習。校庭や路上など所定のコースを歩きながら学んだことを実地で確認しながら指導を受けました。

児童や生徒たちは、交通事故から友達や自分の命を守る交通マナーをしっかり学ぼうと、真剣な表情で取り組んでいました。

自転車の正しい乗り方を学習（柏台小）

みんなの学校紹介①

西根中学校

○月×日△曜日

西根中は、大更小、東大更小、渋川小、田頭小、平笠小の5校の卒業生が入学する市内最大の中学校です。

西根中は、▽自ら考え進んで学習する生徒（知）▽たくましい心と体で実践する生徒（体）▽心豊かで友愛の精神に満ちた生徒（徳）という「知」「体」「徳」を兼ね備えた生徒の育成を目標に掲げ、教育に取り組んでいます。

より良い人間関係を築くには、コミュニケーション能力が欠かせません。同校は、授業の中にグループ討議を取り入れるなど、互いに尊重し合うことができる生徒の育成を目指しています。

春のスタートを飾る事業として4月19日、盛岡市内一周継走に全校で参加。同校を代表して走る選手たちに入学間もない1年生も含めた全校生徒が一丸となり、のどをからして声援を送りました。他校からもエネルギーをたくさんもらい、西根中を盛り上げる原動力となりました。

全力で声援を送り選手たちを応援しました

所在地／八幡平市大更24-25
学校長／佐藤嘉彦
教職員数／33人　学級数／12学級
生徒数／359人　ホームページ／
http://academic3.plala.or.jp/nishinec/
『校訓』
修文錬磨

5月18日～6月21日

土 Saturday	日 Sunday
23 小児救急病院（中央） ■体育協会・トレーニング室利用講習会　9：30～11：30・市総合運動公園体育館	**24** 小児救急病院（医大） ■保健課・子宮がん・乳がん検診　受付9：00～10：00、12：30～13：30・西根地区市民センター ■市立図書館・おはなしのじかん　15：00～15：30
30 小児救急病院（医大）	**31** 小児救急病院（中央） ■保健課・子宮がん・乳がん検診　受付9：00～10：00、12：30～13：30・松尾保健センター ■寺田公民館・シェイプアップヨーガ教室　13：30～15：00
6 小児救急病院（医大） ■寺田公民館・シェイプアップヨーガ教室　13：30～15：00 ■市立図書館・新刊子どもの本を読む会　10：00～11：30、短歌を楽しむ会　13：00～15：30	**7** 小児救急病院（中央） ■七時雨山山開き　10：00～・田代平コース登山口 ■農政課・豊かな森をみんなで造ろう（植林）　10：00～14：00・田山地域丑山牧野 ■寺田公民館・自然を歩こう（七時雨登山）　9：00～
13 小児救急病院（こども） ■市立図書館・おはなしのじかん　15：00～15：30 ■体育協会・トレーニング室利用講習会　9：30～11：30・市総合運動公園体育館	**14** 小児救急病院（医大）
20 小児救急病院（医大） ■寺田公民館・シェイプアップヨーガ教室　13：30～15：00 ■体育協会・県レディースソフトボール大会　9：00～・総合運動公園多目的運動広場	**21** 小児救急病院（中央） ■田頭公民館・書道教室　9：00～12：00 ■体育協会・県レディースソフトボール大会　総合運動公園多目的運動広場、トレーニング室利用講習会　9：30～11：30・市総合運動公園体育館

休日当番医（昼休み時間を除く）

当番日	病院名	電話番号
5月24日(日)	（市　内）平舘クリニック	74-3120
	（鹿角市）小坂町診療所	0186-29-5500
5月31日(日)	（市　内）吉田内科呼吸器科医院	70-1100
	（鹿角市）三ケ田医院	0186-31-1231
6月7日(日)	（市　内）森整形外科	76-2318
	（鹿角市）福永医院	0186-35-3117
6月14日(日)	（市　内）瓜田外科胃腸科医院	76-3220
	（鹿角市）なかのクリニック	0186-22-7335
6月21日(日)	（市　内）東八幡平病院	78-2511
	（鹿角市）鹿角中央病院	0186-23-4131

小児救急入院受入当番病院

病院名	電話番号	当番日
岩手県立中央病院（中央）	019-653-1151	カレンダー内の日付右側に毎日掲載しています
岩手医科大学付属病院（医大）	019-651-5111	
盛岡赤十字病院（日赤）	019-637-3111	
もりおかこども病院（こども）	019-662-5656	
川久保病院（川久保）	019-635-1305	

【小児救急病院の選び方】
◆平日・土曜日の夜間
19:00～23:00→盛岡市夜間急患診療所（☎019-654-1080）
上記の時間以外→小児救急入院受入当番病院
◆日曜日・祝日
9:00～17:00→休日当番医
19:00～23:00→盛岡市夜間急患診療所（☎019-654-1080）
上記の時間以外 →小児救急入院受入当番病院

岩手医大・県立中央病院の出張診療日

病院名	診療科目	診療日時
西根病院（☎76-3111）	呼吸器	第1月曜日　午後2時～
	腎臓	第3月曜日　午後2時～
	血液	第3水曜日　午後2時～
	神経	第3木曜日　午後2時～
	糖尿病※	毎週火曜日　午前中
	循環器※	第2水曜日　午後1時半～
安代診療所（☎72-3115）	外科	毎週木曜日　午前中
田山診療所（☎73-2126）	脳神経外科	第1・3木曜日　午前中

※糖尿病、循環器は内科で初診を受けた後、医師が必要と判断した場合、次回から予約受診することになります。診療日は変更になる場合があります。電話で確認してからお出掛けください。

●毎週火曜日は、市立図書館休館日です。詳しくは、市立図書館（☎75－1700）まで。

暮らしの情報カレンダー

月 Monday	火 Tuesday	水 Wednesday	木 Thursday	金 Friday
5/18 小児救急病院（医大） ■市立図書館・『昭和史』を学ぶ会　13：30～15：30	19 小児救急病院（川久保） ■保健課・全血献血　9：30～12：00・㈱遠忠、14：00～16：30・㈱ミサワテクノ岩手工場、1歳児健診　受付13：00～13：30・西根地区市民センター、2歳6カ月児歯科健診　受付9：15～9：30・西根地区市民センター	20 小児救急病院（中央） ■地域振興課・西根地区行政相談　9：00～12：00・西根地区市民センター	21 小児救急病院（日赤） ■保健課・子宮がん・乳がん検診　受付9：00～10：00、12：30～13：30・田頭公民館、社会保険事務相談　10：00～16：00・市商工会 ■市立図書館・本のクリニック講習会　10：00～15：00	22 小児救急病院（医大） ■保健課・子宮がん・乳がん検診　受付9：00～10：00、12：30～13：30・西根地区市民センター ■安代地域振興課・安代地区行政相談　9：00～12：00・田山支所
25 小児救急病院（中央）	26 小児救急病院（日赤） ■市民課・犬猫引き取り　10：30・松尾総合支所、10：45・市役所 ■保健課・もうすぐパパママ教室　9：30～11：30・田頭公民館、乳児健康相談・離乳食講習　受付9：30～9：50・田頭公民館 ■寺田公民館・詩吟講座　13：30～15：00 ■安代地区公民館・講話「健康に良い音楽の活用」　9：30～11：00	27 小児救急病院（医大） ■寺田公民館・オカリナ教室　13：30～15：00 ■松尾地区公民館・ガーデニング講座　13：00～15：00・ふれあい文化伝承館前	28 小児救急病院（中央） ■保健課・子宮がん・乳がん検診　受付9：00～10：00・柏台地区センター ■寺田公民館・描こう写そう観ようの会　8：30～17：00・一関市	29 小児救急病院（日赤） ■保健課・親子教室　受付9：40～9：55・西根地区市民センター、幼児相談　受付11：30～11：40・西根地区市民センター、子宮がん・乳がん検診　受付9：00～10：00、12：30～13：30・新田生活改善センター
6/1 小児救急病院（日赤） ■市民課・特設人権相談　9：00～12：00・松尾総合支所、若者センター、10：00～15：00・西根地区市民センター ■市立図書館休館日	2 小児救急病院（川久保） ■市民課・犬猫引き取り　11：00・安代総合支所 ■保健課・乳児健診　受付13：00～13：30・西根地区市民センター	3 小児救急病院（医大）	4 小児救急病院（中央） ■広報はちまんたい発行日	5 小児救急病院（日赤）
8 小児救急病院（日赤） ■松尾地区公民館・パステル画講座　13：00～15：00・松尾ふれあい文化伝承館	9 小児救急病院（医大） ■保健課・1歳児健診　受付13：00～13：30・西根地区市民センター ■寺田公民館・詩吟講座　13：30～15：00 ■安代地区公民館・りんどう号巡回（荒沢方面）	10 小児救急病院（中央） ■市民課・人権相談　9：00～12：00・田山公民館 ■保健課・1歳6カ月児健診　受付13：00～13：30・西根地区市民センター ■寺田公民館・オカリナ教室　10：00～12：00 ■松尾地区公民館・移動図書　12：30～15：45 ■安代地区公民館・りんどう号巡回（田山方面）	11 小児救急病院（医大） ■寺田公民館・幼児映画会　10：00～10：30・寺田保育所、子ども映画会　15：20～16：00・寺田公民館 ■松尾地区公民館・移動図書　12：30～15：45	12 小児救急病院（中央） ■市立図書館・あみぐるみ教室　10：00～15：30
15 小児救急病院（中央） ■松尾地区公民館・パステル画講座　13：00～15：00・松尾ふれあい文化伝承館 ■市立図書館・『昭和史』を学ぶ会　13：30～15：30	16 小児救急病院（川久保） ■市民課・犬猫引き取り　10：30・松尾総合支所、10：45・市役所	17 小児救急病院（日赤） ■保健課・もうすぐパパママ教室　9：30～11：30・田頭公民館	18 小児救急病院（医大） ■市民課・社会保険事務相談　10：00～16：00・市商工会 ■保健課・乳児健康相談・離乳食講習　受付9：30～9：50・安代保健センター ■松尾地区公民館・ガーデニング講座　13：00～15：00 ■安代地区公民館・読み聞かせ講座　10：00～11：30 ■市立図書館・本のクリニック講習会　10：00～15：00	19 小児救急病院（中央）

博物館だより

M U S E U M

博物館 TEL63-1122・FAX63-1123

21年度の主要行事案内

◆企画展「東叡山護国院・孝順を支えた大名家」

秋元家二代泰朝公所用具足(館林市・尾曳稲荷神社蔵)

安代地区石神出身の孝順大僧正没後160年を記念して、彼が住職を務めた護国院と大名家(特に秋元家・森家)との関わりを名品とともに紹介します。9月上旬の開催予定です。

◆文化講演会

新発見された「明治9年田山暦」が、太陽暦採用後もなぜ作成されたのか、暦研究の第一人者、岡田芳朗先生(女子美術大学名誉教授)が、わかりやすく解説・講演します。日程など詳しくは後日お知らせします。

◆好評「古文書講座」開講

昨年好評だった古文書講座を今年も引き続き実施します。地域に残る古文書を使いながら、地場産業の一端をひもとき、解説します。講師は二戸市文化財審議委員の目時東次郎先生です。第1回は5月16日㈯、午前10時から開催します。申し込みなど詳しくは、博物館まで。

◆トピック展「八幡市スキー大会栄光の記録展」

八幡平市出身スキー選手の各種大会での数々の栄光とその努力の跡を戦勝品で振り返ります。6月30日㈫までの開催予定です。

アルベールビル冬季五輪、ノルデック複合団体で金メダルに輝く三ケ田礼一選手㊧

◆中世南部氏をめぐる歴史散歩

南部氏が領国経営に苦心した中世城館跡を訪ねます。今回は浅水城・田子城・苫米地館などあまり知られていない南部氏の拠点を歩きます。(10月中旬開催予定)。その他の催事につきましても、随時お知らせします。

図書館だより

L I B R A R Y

図書館 TEL75-1700・FAX75-1701

定例行事の参加者募集

一般向けの定例行事

■新刊子どもの本を読む会(第1土曜日　午前10時～)新着絵本・児童書などの読書会

■短歌を楽しむ会　(第1土曜日　午後1時～)短歌を気軽に楽しむ学習会　講師：伊藤幸子氏

■あみぐるみ教室 (第2金曜日　午前10時～)図書館の資料を使ったあみぐるみ作り

※上記行事は会員制です。参加を希望する人は、図書館へ申し込んでください。

■『昭和史』を学ぶ会 ※昭和史を学ぶ会主催　(第3月曜日　午後1時半～)　市民による読書会。申し込み・問い合わせは図書館でも受け付けます。

子ども向けの定例行事

■おはなしのじかん　(第2土曜日・第4日曜日　午後3時～)　絵本や紙芝居の読み聞かせや工作をします。親子で参加できます。お話室へどうぞ。

◎本を破損してしまったときは・・・

返却の際にスタッフへ申し出ください。図書館で補修をします。

線を引かない・色を塗らない　ボールペンは消せません。鉛筆は消す時に、紙を痛めてしまいます。

セロテープをはらないで　セロテープは変色し紙を傷めます。補修せずそのまま返却してください。

■■■　行事・休館日のお知らせ　■■■

▶おはなしのじかん(絵本の読み聞かせなど)5月24日㈰　午後3時～

▶新刊子どもの本を読む会③　6月6日㈯　午前10時～

▶短歌を楽しむ会③　6月6日㈯　午後1時～

▶あみぐるみ教室　6月12日㈮　午前10時～

▶5月のテーマ展　「なつかしの児童書＆図書館写真展」

▶休館日　5月19日㈫・26日㈫・6月1日㈪・2日㈫・9日㈫

よろこび　おくやみ

（３月届け出分）

健やかに

田村　瞳磨（男／浩／田頭）
斎藤　挨琉（男／大渡／山口）
佐々木　青輝（男／靖人／大更）
鴨反　春鈴（女／寿文／松尾寄木）
和田　すみ礼（女／証治／大更）
田村　桜介（男／日出人／西根寺田）
遠藤　凜桜（女／卓哉／柏台）
遠藤　周（女／靖弘／大更）
工藤　優武（男／力／堀切）
髙橋　昊汰（男／奨／大更）
大巻　昊也（男／睦彦／平舘）
髙橋　悠希（男／清孝／松尾寄木）

お幸せに

田村　健司／松尾
遠藤　優理香／盛岡市

髙橋　由／平笠
亀田　泰子／滝沢村

松浦　剛／堀切
柴田　幸恵／一戸町

中村　賢二／荒木田
志田　智美／大船渡市

平　圭太／大更
前田　理紗／大更

安らかに

髙橋　タマ　78歳　平舘
伊藤　ミサ　75歳　田頭
松村　ハツエ　64歳　平舘
山本　喜久志　77歳　兄畑中川原
髙村　刃太郎　95歳　寺志田
工藤　若子　85歳　松尾
佐々木　シワ　82歳　松尾
三田村　泰忠　62歳　田頭
湯下　和榮　68歳　野駄
工藤　敏路　80歳　大更
渡辺　イシ　86歳　平笠
関　和弘　57歳　赤坂田
瀬川　ミサホ　83歳　田頭
小野沢　サメ　96歳　赤坂田
大森　正三　89歳　寺志田
関　ミン　91歳　作平
山本　朝美　72歳　舘市
米田　サキ　90歳　野駄
立花　俊二　82歳　安代寄木
関口　金四郎　77歳　松尾寄木
髙橋　政利　65歳　平舘
松村　稠　79歳　大更
小川　榮一　77歳　松尾寄木
田村　秀雄　59歳　大更
工藤　則夫　53歳　大更
工藤　ソヨ　89歳　田頭
齋藤　正一郎　88歳　打田内
工藤　ハルヱ　87歳　大更
髙橋　弥宗　90歳　松尾寄木

掲載は届け出順で届け出人が希望した場合だけ行っています。（敬称略）

■人口の動き【３月31日現在　（　）は前月比】

地　区	人　口	世帯数
西根地区	17,786（－59）	6,025（－7）
松尾地区	6,689（－26）	2,354（－2）
安代地区	5,567（－39）	1,955（－7）
合　計	30,042（－124）	10,334（－16）
男　性	14,539（－60）	
女　性	15,503（－64）	

出生	16	死亡	34
転入	104	転出	210

■交通事故件数など　※累計は１月からの合計

項　目	3月	累計
人身事故	5	17
物損事故	52	192
負傷者	5	24
死　者	0	0
飲酒運転	0	0
火　災	0	2
救　急	80	252

No.44 広報クイズ 5月14日号の問題

市が相互友好協力協定を結んで連携する大学はどこ？

正解者の中から抽選で３人に500円分の図書カードをお贈りします。

◎応募方法　はがき、ファクス、メールに「答え、住所、氏名、年齢」を書いて応募してください。また、答えのほかに、広報の感想や意見などを書き添えてください。紙面づくりの参考にさせていただきます。

◎応募期限　５月26日㈫　消印有効

◎応募先　八幡平市役所「広報クイズ係」　☆はがき〒028-7192（住所不要）　☆ファクス　75-0469　☆メール　somuka@city.hachimantai.lg.jp（タイトルに「広報クイズ」と入力、携帯電話は上の二次元コードからも送信できます）

◎第43回の正解　「523人」

◎応募者数　10人　◎正解者数　10人

◎当選者　井上恵美子さん（大更）、本堂賢輝さん（荒木田）、荒川安子さん（野駄）

話題ピックアップ

まちのニュース

黄色い羽根を配布して交通安全を呼び掛けました（安代小）

黄色い羽根の街頭配布などで交通事故を防止

4/8

交通事故から市民の命を守ろうと、4月6日から15日までの春の全国交通安全運動に合わせて、市内でさまざまな交通安全啓発活動を行いました。

8日朝には、市内の小学校周辺など13カ所の街頭で、市交通安全協会など関係者が黄色い羽根を配布。登校中の児童生徒や通勤者などに「おはようございます」とあいさつしながら、自転車の乗り方など交通マナーを守るよう、広く呼び掛けを行いました。

夢に向かって全力投球 スポーツ少年団結団式

4/18

それぞれの少年団へ認定証を授与

八幡平市スポーツ少年団結団式は4月18日、市総合運動公園体育館で行われ、団員約300人が今季の活躍を誓いました。

松尾バレーボールスポーツ少年団の下舘杏佳主将（柏台小6年）の先導で、健康な体と心を養い、目標に向けて努力することなどを誓う日本スポーツ少年団綱領を斉唱。各少年団へ認定証を授与しました。団員を代表して、西根第一中学校スポーツ少年団の遠藤碧子主将（同校3年）が「感謝の気持ちを忘れず、全力を尽くします」と決意を述べました。

岩手・秋田の全線同時アスピーテライン開通

4/17

開通を祝い、関係者による除雪などを行いました

八幡平に春の訪れを告げる八幡平アスピーテライン（10・6キロ）は4月17日に開通しました。

本年度から、長年の課題だった秋田県側との同時開通が実現。ゲート前には開通を待ちわびる観光客が内外から多数詰め掛けました。

ゲート前で行われた開通式には、チャーター便で台湾から訪れた観光客も参加。テープカットで開通を祝い、雪の回廊など自然が織り成す絶景を楽しみました。

山頂レストハウス周辺では、初の同時開通を祝うセレモニーも行われました。

八幡平アスピーテライン・雪の回廊
（4月17日、山頂レストハウス周辺）

八幡平アスピーテライン開通式
（4月17日、山頂レストハウス周辺）

黄色い羽根街頭配布
（4月8日、上町交差点）

市内の産直が連携してさらなる魅力の発信へ

4/6

事業計画などを決定した設立総会

連携を深めて一層の誘客を図ろうと、市内の産直施設を運営する10組織は4月6日、八幡平市産直連携協議会を設立しました。

友好都市交流促進センターで開かれた設立総会には、10組織の代表者など20人が出席。松尾八幡平物産館産直組合の佐々木春男組合長を会長に選出し、産直施設の共同事業や特産品の商品開発などを行うことを決定しました。

本年度の事業として、7月にさくら公園で合同イベントを開催するほか、スタンプラリーなどの実施を計画しています。

さくらと残雪まつりで市の魅力を内外へ発信

5/3

大勢の観光客でにぎわいを見せた不動の滝

八幡平さくらと残雪まつりは4月25日から5月6日までの12日間、市内各会場で開かれました。

5月の大型連休に市内で行われているさまざまなイベントが連携することで、一層の誘客につなげようと行われているもので今年で7回目となります。

5月3日には、桜松公園で不動の滝まつりを開催。日本の滝百選に選ばれている不動の滝に県内外から大勢の観光客が訪れました。会場には、商工会などによる出店が軒をつらね、歌謡ショーなどの催しで観光客を楽しませました。

八幡平地域のさらなる発展を願い山開き開催

4/25

山開き交流登山で両県の友好を深めました

岩手県と秋田県にまたがる八幡平（1613㍍）の山開きは4月25日、八幡平見返り峠の駐車場で行われました。

当日はあいにくの天気ながら、山岳関係者や観光関係者など約100人が式典に出席。一年間の登山者の安全と観光客の増加を祈願しました。

式典で田村正彦市長は、「アスピーテラインの同時開通が実現したことで、八幡平の価値が一層高まりました。アジアなど海外にも広く八幡平の魅力を発信するとともに、国内にもこの地域のすばらしい観光資源をPRしていきます」とあいさつし、八幡平地域の発展を願いました。

両県の山岳協会によるピッケル交換やテープカット、もちまきなどを行い、山開きを祝いました。恒例となった両県の市民や関係者などによる交流登山には約20人が参加。4㍍ほど残る雪を踏みしめて八幡平の頂上を目指しました。山頂では参加者全員で万歳をして、友好を深めました。

山頂レストハウスでは、訪れた観光客に市特産のニジマスの押しずし「清流ずし」などが振る舞われました。

すなっぷギャラリー

八幡平山開き・テープカット
（4月25日、山頂レストハウス周辺）

八幡平山開き・交流登山
（4月25日、八幡平）

早期退院の願いを込め 西根病院でお花見会を

参加者みんなで「花」を大合唱

西根病院のお花見会は4月23日、同病院談話室で行われました。

嶋院長が「歌や踊りなどを楽しんで、心を癒してください」とあいさつし、お花見会の始まりです。

サクラの花などで飾り付けられた会場で、「花」や「春が来た」などを合唱。看護師などが「西根音頭」を踊り、参加者を楽しませました。

お花見気分を味わってもらおうと、この日は昼食も花見弁当風のものを用意。赤飯など、普段とは一味違う病院食に、患者は舌鼓を打ちました。

みんなで意識を高めて 犯罪から自分を守ろう

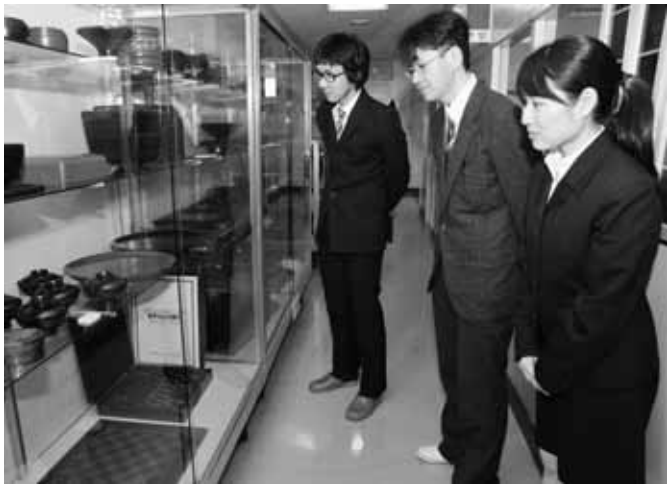
北岩手地区少年警察ボランティア協会は4月20日、田頭小学校の児童へ防犯を呼び掛ける鉛筆を贈りました。

これは、犯罪から身を守るための教え、「いか・の・お・す・し」を知ってもらおうと、市内の小学生を対象に配布したものです。鉛筆は5本組で、初回は「ついてイカない」の鉛筆を配布。同協会による登校時のあいさつ運動の中で、残りの鉛筆を配布します。

同校の遠藤絢乃さん（6年）は、「低学年にも教えて、みんなで防犯に気を付けたい」と決意を新たにしていました。

みんなで防犯意識を高めます

職人を目指して 修行の日々に 身を投じます


意欲を高める研修生（左から宍戸さん、稲垣さん、安田さん）

4/6

市安代漆工技術研究センターの入所式は4月6日、安代総合支所で行われ、研修生が安比塗の技法を学ぼうと意欲を高めました。

本年度入所の研修生は、稲垣元洋さん（神奈川県厚木市出身）、宍戸大祐さん（一関市出身）、安田温美さん（栃木県宇都宮市出身）の3人です。

小林順一副市長は、「伝統産業が見直されつつあります。将来に生かせるよう技術を学び、修了作品を見せてもらうのを楽しみにしています」とあいさつしました。

稲垣さんは、岩手町で釣り竿工房を開いていましたが、漆を生かした釣り竿を作るため工房を一時休業。安比塗の技術習得を目指し、研修に取り組みます。

3月まで長野県の技術専門校で木工を学んだ宍戸さんは、漆器作りの技法の中でも、「塗り重ねた漆を彫る、彫漆に取り組みたい」と意欲を燃やします。

栃木県内の中学校で美術講師をしていた安田さんは、大学院で漆工芸を専攻。安比塗の技術を学ぶとともに、漆文化の普及にも意欲を見せます。

すなっぷギャラリー

地域安全運動啓発活動
（4月7日、マックスバリュ西根店）

交通事故死ゼロを目指す日啓発活動
（4月10日、市役所本庁前）

青年海外協力隊として途上国の教育向上に活躍

4/14

独立行政法人国際協力機構（ＪＩＣＡ）の青年海外協力隊員として、ボリビア共和国コチャバンバ県ミスケ市へ派遣されていた工藤敦子さん（大更出身）は４月14日、田村正彦市長へ帰国報告のため市役所を訪れました。

工藤さんは、19年３月29日から21年３月28日まで、ボリビア共和国で活動しました。

ＪＩＣＡの青少年支援の一環として、教育の質向上プロジェクトに尽力。さまざまな教育活動に取り組みました。

現地での体験談などを交えながら報告した工藤さんは、結びに「現地での経験を生かし、今後の教育活動などに取り組みたいと思います」と決意を述べました。

開発途上国からの要請により、技術や経験を活かしたボランティアとして活動する青年海外協力隊は毎年多くの隊員を派遣しています。

田村市長に現地での様子を報告する工藤さん（写真右）

地域の安心安全を守る消防団員に辞令を交付

4/23

市民の生命と財産を守る、市消防団の辞令交付は４月23日、市役所大会議室で行われました。

分団長、副分団長などへの昇任者51人に加えて、新入団員11人に辞令を交付。新入団員を代表して阿部浩之さんが宣誓を行いました。

渡辺東六団長は、「市民の生命財産を守るため、消防団が一体となって活動してもらいたい」と訓示して、団員たちを激励しました。

団員たちは、地域の安全を自分たちの手で守ろうと、思いを新たにしていました。

渡辺団長の前で新入団員を代表して宣誓

庁舎建設の基本計画に意見を付け報告書提出

4/8

八幡平市庁舎建設検討委員会（委員長・古沢真作前県立大学事務長）は４月８日、市が示した庁舎建設基本計画案に対する報告書を取りまとめ、田村正彦市長へ提出しました。

報告書には、維持管理経費抑制のため、省エネルギーに配慮することや地盤調査の実施、駅を併設する場合には観光モニターの設置など来訪者に配慮するなどの提言が付記されました。

今後は、パブリックコメントで寄せられた意見を参考に基本計画の成案を取りまとめ、住民説明会を開催予定です。

活発な議論が交わされた検討委員会

庁舎建設検討委員会・報告書提出
（４月８日、市役所大会議室）

交通安全啓発活動
（４月14日、安代小学校付近）

西根病院お花見会
（４月23日、西根病院談話室）

八幡平ふるさと会のつどいを開催します

首都圏に住む市出身者で組織する「八幡平ふるさと会」では、会員を募集するとともに、ふるさととのつながりをもちながら郷土愛をはぐくみ、会員同士の交流と親交を深めながら、交流の輪を広げることを目的に「八幡平ふるさと会のつどい」を次のとおり開催します。

家族や知り合いで首都圏に在住する市出身の人がいるときは、お知らせください。昨年は、220人の参加者が交流し、親交を深めました。

■日時　６月７日(日)、午前11時～午後３時まで

■場所　虎ノ門パストラルホテル（東京都）

詳しくは、八幡平ふるさと会事務局長：小野沢栄治(☎03-3870-7760)または、市企画総務部地域振興課(☎・内線1122)まで。

アートステーション企画展を開催します

アートステーションギャラリーでは、次のとおり企画展を開催しています。

■企画展　浪岡奈津子展、村田とも子展

■期間　７月５日(日)まで、午前９時～午後５時(月・火曜日は休館)

■入場料　無料

詳しくは、アートステーションギャラリー(旧荒屋小学校)・ゴトウシュウ(☎72-2922)まで

介護教室開催します気軽に参加ください

介護老人保健施設岩鷲苑では、次のとおり市民を対象とした無料の介護教室を開催します。

■日時　６月３日(水)、午後１時半

申し込みなど詳しくは、介護老人保健施設岩鷲苑(☎76-5611)まで。

デントコーン種子購入を助成します

市は、21年度に作付けするデントコーンの種子を購入する農家に、購入額の２分の１以内で、補助金を交付します。

ＪＡ新いわて、岩手中央酪農組合以外から種子を購入した人は、６月30日(火)までに申請手続きをしてください。

申請書は、市産業部農政課、松尾・安代の各総合支所地域振興課窓口に準備していますので、次の物を持参し、手続きをしてください。

■手続きに必要な物　印鑑、納品書、領収書、口座番号のわかる物

※申請書の様式は、市ホームページからダウンロードできます。

手続きなど詳しくは、市産業部農政課畜産係(☎・内線1274)まで

クマが活動し始めます注意と対策は忘れずに

クマが活動する季節になりました。

昨年は５月以降、市内各地でクマが多数目撃されており、人身被害も発生しています。

最近のクマは、人里近くにも出没する傾向にあります。農作業時や入山時には、鈴やラジオを持ち歩くなど、自己防衛策を行い、事故に遭わないよう十分注意してください。

また市は、クマによる農作物被害を軽減するため、21年度にクマよけ電気柵を購入する人に対して、次のとおり補助金を交付します。

■補助金の額　対象経費の２分の１以内の額で、６万円を限度とする

助成の枠には限りがありますので、購入を検討している人は早めに問い合わせください。

助成の手続きなど詳しくは、安代総合支所土木林業課林業係(☎・内線3142)まで

INFORMATION

お知らせ

詳しくは各担当、各機関に問い合わせを

八幡平市役所　☎76-2111
松尾総合支所　☎74-2111
安代総合支所　☎72-2111

ホームページはこちら

http://www.city.hachimantai.lg.jp/

農業委員会活動計画(案)皆さんからの意見を募集

市農業委員会では、農業の担い手の育成・確保、農地の利用集積および耕作放棄地の解消について、積極的な活動を推進するため、23年度までの目標を設定。その達成に向けた取り組みを定めた「農業委員会活動計画(案)」を取りまとめましたので、これに対する市民の皆さんの意見を次のとおり募集します。

計画案は、市農業委員会事務局や松尾総合支所地域振興課、安代総合支所土木林業課のほか、市のホームページで閲覧ができます。

■意見募集期限　5月29日㈮

■意見提出方法　次のいずれかの方法により提出してください。様式は自由です。

▷郵送　〒028-7192　八幡平市大更35-62　八幡平市農業委員会事務局

▷ファクス　0195-75-0469

▷電子メール　nogyoinbukyoku@city.hachimantai.lg.jp

※使用する言語は日本語とし、住所・氏名・電話番号など連絡先を明記してください。記入がない場合、提出意見書として取り扱いません。

■提出された意見の公表　提出された意見は市の考えを付して内容を公表する予定です。(氏名などは公表しません)

詳しくは、市農業委員会事務局(☎・内線1284)まで。

森林の伐採・開発手続きが必要です

森林を伐採、開発するときには、事前に届け出や許可申請の各種手続きが必要です。

森林の伐採、開発を計画している場合は、安代総合支所土木林業課または、盛岡地方振興局林務部に相談してください。

保安林以外の森林での立木の伐採について詳しくは、安代総合支所土木林業課(☎・内線3141)、保安林での立木の伐採や土地の形質の変更および、保安林以外の森林での1ヘクタールを超える開発行為について詳しくは、盛岡地方振興局林務部(☎019-629-6617)まで。

豊かな森づくりの一歩植樹への参加者を募集

市は、放牧を休止していた牧野の有効活用を図ることを目的として、牧野の一部で森林化の試験をすることにしました。

次のとおり森づくりへの参加者を募集しますので、お気軽に申し込みください。

■日時　6月7日㈰、午前10時

※市役所から午前8時半発の送迎バスを運行します。帰りは、午後3時ごろになります。

■場所　田山地区丑山牧野内

■持ち物　手袋、帽子、雨具、おにぎりなど

■申込期限　5月29日㈮まで

詳しくは、市産業部農政課(☎・内線1274)まで。

定額給付金などの申請手続きはお済みですか

定額給付金や子育て応援特別手当を受給するには、申請手続きが必要です。市市民部市民課、松尾・安代の各総合支所地域振興課窓口または、申請書と一緒に送付した返信用封筒により郵送で提出してください。

市内でも市職員をかたり、銀行の口座番号や暗証番号を聞きだそうとする電話がありました。

市は、電話による個人情報などの照会は行っていませんので、不審な電話があったならば、相手の所属、氏名を確認し、一度電話を切ってから市に本当かどうか確認してください。

詳しくは、市定額給付金事業実施本部(☎・内線1560、1561)まで。

協働のまちづくり事業第3次申請を受け付け

市は、21年度協働によるまちづくり事業補助金の第3次申請を次のとおり受け付けます。

■対象　地域振興協議会、自治会、町内会など

■申請方法　申請書に記入し、必要書類を添付して各総合支所地域振興課へ提出してください。

■申請期限　6月10日㈬

詳しくは、各総合支所地域振興課まで。

- 西根地区　☎・内線1123
- 松尾地区　☎・内線2107
- 安代地区　☎・内線3120

八幡平市チャレンジ・ザ・ゲーム大会2009を開催します

市レクリエーション協会では、「八幡平市チャレンジ・ザ・ゲーム大会2009」を次のとおり開催します。

チャレンジ・ザ・ゲームは、グループで交流しながら、遊び感覚で体を動かす楽しさを味わえるスポーツレクリエーションです。

■日時　5月31日㈰、午前9時40分から

■場所　総合運動公園体育館

■参加費　1人100円(傷害保険料を含む)

■申込期限　5月25日㈪

申し込みなど詳しくは、市レクリエーション協会長小瀬川(☎78-4567)まで。

Zoom Up 人

斉藤　陽一 さん

●さいとう・よういち　岩手日報社八幡平支局長。盛岡第一高校から北海道大学に進み、平成13年岩手日報社入社。運動部、報道部、東京支社、整理部などを経て、４月から八幡平支局に。趣味は温泉巡り。「まじめそうに見えて、実は大ざっぱ」と自己分析する。「素直に、誠実に」をモットーとする31歳。血液型O型のかに座。盛岡市出身。

華やかな取材でなくても皆さんの声にしっかりと耳を傾けるそれが僕の取材の基本ですね

この４月から岩手日報社八幡平市局に支局長として赴任してきた斉藤陽一さん。３月に異動の内示を聞いたときは「山と農業」が真っ先に頭に浮かんだという。

「食べ物がおいしいし、水もきれい。アウトドアな感じで、いいところに異動になったなと思いましたね」

初めから新聞記者を目指していたわけではないという斉藤さん。就職先を決める上で、心の中にあったのは「地元に戻りたい。自分のふるさとを良くすることに関わりたい」という思い。北海道で一人暮らしをしていた学生時代に、あらためてふるさと「岩手」の良さを実感したという。

「自分は本当に岩手のことが好きなんだなと思い知らされましたね」

入社後最初に配属された部署は、運動部。岩手を明るくするためにはどこがいいかと考えたときに、単純に思いついたのがスポーツだった。

「スポーツでがんばる人を伝えるのが、岩手を明るくする一番の近道だと思いまして。それで希望したら、意外にもそのまま配属になったんですよね」

新聞社に入って真っ先に学んだことは、記事が持つ影響力だという。

「記事によって喜ばれることも、嫌な思いをさせることも、うらまれることだってある。その人の人生を左右してしまうことだってあるかもしれない。当たり前ですけど、記事が与えてしまう影響を考えながら、責任を持って仕事に取り組まなければならないんですね」

現在31歳の斉藤さんだが、これまで５つの部署を渡り歩き、経験は豊富だ。過去には、畠山長太さん（曲田）の全国中学校スキー大会優勝、小笠原満男選手のサッカーワールドカップ出場などの記事にも携わった。スポーツ取材では、同じ岩手県人として、どうしても感情移入してしまうという。

「一応援団になってしまうこともたびたびですよ。力が入っちゃうんですよね」

ふるさと「岩手」がもっと良くなってほしいという気持ちは今も変わらない。

「仕事をする上でいつも自分の真ん中にあるのは、ふるさとへの思いなんですよ。地方だからこその豊かさ、岩手らしさを発信する手助けが自分の使命ですね。岩手の皆さんの応援団ですから、僕は」

ふるさと「岩手」を思う気持ちを原動力に、今日も斉藤さんは市内を駆け回り、皆さんの一言一言に耳を傾ける。

広報／はちまんたい　2009.5
平成21年５月14日発行
（毎月第１、第３木曜日発行）
発行・編集／八幡平市役所企画総務部総務課　印刷／川口印刷工業㈱
〒028-7192　岩手県八幡平市大更35-62　☎0195-76-2111
FAX0195-75-0469　ホームページＵＲＬhttp://www.city.hachimantai.lg.jp/

FSC ミックス品 CU-COC808041
PRINTED WITH SOY INK